

ニューズレター No.75

発行人 寺田 貢

2015(平成27)年3月18日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.75 をお届けいたします。今回は、

- (1) 関西支部会支部大会のプログラム
 - (2) 2014 年度第2回理事会報告
- についてお知らせいたします。

関西支部会支部大会のプログラム

日本リメディアル教育学会第7回関西支部会支部大会のプログラムをお知らせいたします。

開催日:平成27年3月23日(月)午後13時より午後17時半
会場:関西外国語大学 ICC センター (関西外国語大学中宮キャンパス正門左隣の建物) 6308 教室(全発表)

アクセス:<http://www.kansaijaidai.ac.jp/contents/other/access.html>

- * 参加費無料で、非会員の方にもご参加頂けます。
- * ジャンルを問わず、リメディアル教育にご関心がおありの方、指導法を模索しておられる方、シンポジストや発表者に質問がおありの方、是非ご来場ください。
- * お問い合わせ先:村上裕美 hiromim@kansaijaidai.ac.jp

13:00-13:15 開会のご挨拶

会長:寺田 貢(福岡大学)

関西支部会支部長:村上裕美(関西外国語大学短期大学部)

展示企業ご紹介

13:15-14:15 シンポジウム:「リメディアル教育の今後の展望と課題」

司会:村上裕美

登壇者:寺田 貢(福岡大学)、酒井 志延(千葉商科大学)、竹内 典彦(北海道情報大学)、谷川 裕稔(四国大学短期大学部)、御園 真史(島根大学)

* シンポジウム要旨

「リメディアル教育の今後の展望と課題」では、これまで日本リメディアル教育学会にて報告または提案されてきた実践報告を踏まえ、学会内で活動している専門部会の代表者に登壇いただき、各専門部会の視点から見る①リメディアル教育の現状(成果と課題)、②これからのリメディアル教育の展望と提案というテーマに付いて語っていただきます。また、専門部会間で相互に異なる視点から提案や意見交換も行っていただきます。ご来場の皆様と意見交換もさせていただきます、今後の活動に活用させていただきたいと願っています。

14:20-14:40 第1発表:御園 真史(島根大学)

数学的言語力調査の結果からみるリメディアル教育における言語面での指導の必要性

14:40-15:00 第2発表:吉田 三紀(大阪大学大学院)

協同学習が習熟度の低い学生の情意面に及ぼす影響

15:00-15:20 第3発表:谷口 真日東(甲子園大学)

学生実験レポートの質の向上への試み

15:20-15:40 第4発表:中西 千春(国立音楽大学)

英語リメディアル教育における「考える」「伝える」力の育成

15:40-16:10 Coffee Break: 展示企業によるプレゼンテーション
ライズ株式会社
株式会社ティエラコム

16:10-16:30 第5発表:藤田 大雪(大阪体育大学)
ピアサポート制度の導入が学習支援の運営面に与えた効果(大阪体育大学の事例)

16:30-16:50 第6発表:間中 和歌江(東京純心女子大学)
リメディアルレベルの学生に対する意識調査ー児童英語学習歴との関連性を考えるー

16:50-17:10 第7発表:酒井 志延(千葉商科大学)
リメディアル学生を救う指導についての一考察ー成長する意味をどう指導するか

17:10-17:30 第8発表:谷川 裕稔(四国大学短期大学部)
「学修支援」と「学習支援」に係る概念枠組みについての一考察(4) 一溝上氏の見解との懸隔を中心に一

17:30-17:40 閉会の辞: 関西支部会支部長:村上裕美(関西外国語大学短期大学部)

18:00-20:00 情報交換会:ICC センター1階 Hamac de Paradis ICC (事前申込制)

関西支部支部長 村上裕美 (関西外国語大学短期大学部)

2014 年度第2回理事会報告

以下の要領で、2014 年度第2回理事会を開催いたしました。議題の概要について示します。

期日:2015年3月11日(水):14時~17時

場所:国際文献社会議室

【審議事項】

1. 会長・業務執行理事の業務報告
前回の理事会からの業務状況について、会長と業務執行理事(全国大会企画委員会と編集委員会の委員長)から報告されました。
2. 2014 年度決算(案)、2015 年度予算(案)
会長から 2014 年度の間決算と 2015 年度の予算案について紹介されました。
3. 第10回全国大会開催報告
第10回全国大会実行委員会委員長(小川理事)から、開催結果と決算について説明されました。
4. 第11回全国大会準備状況
全国大会企画委員会委員長(小松川理事)から、準備状況について説明されました。
5. 事務局業務契約書
会長より国際文献社に委託している事務局業務について、2015 年度の契約について説明されました。
6. 役員候補者選出選挙の準備
会長から役員候補者選出選挙の日程、選挙管理委員会、推薦者名簿作成委員会および投票・開票の手続きについて説明され、選挙を実施することとしました。

7. CiNii への全国大会予稿集の掲載と pdf 入稿

会長から、現在 CiNii で公開している会誌に加え、過去の全国大会の予稿集も公開することが説明され、さらに、公開のために CiNii を運営している国立情報学研究所に会誌の冊子を送付する方法を、pdf でファイルとして送付する方法に変更することが説明されました。

8. 編集委員会からの提案

編集委員長および会長から、最終原稿のレイアウトや著者⇄編集委員会⇄査読者との連絡事務・編集事務を印刷所に委託することが提案されました。この提案に際し、複数の印刷所に見積を依頼した結果、印刷費に大きな影響が出ないことも紹介され、承認されました。さらに、J-Stage を利用し、会誌を電子ジャーナル化し、速報性を改善することが提案されました。これにより、毎月または 2 か月に 1 回の発行とし、1 年分を冊子にまとめて 1 回することに変更することを検討することになりました。

9. 研究活性化支援制度(仮称)の提案

会長から、学会予算の収支を改善し、50 万円から 100 万円程度の予算を捻出し、研究活性化支援金公募制度(仮称)を創設することが提案されました。

10. 次期体制の検討: 会長の業務

現会長は 2013 年 8 月の理事会(於: 広島修道大学)で、2 年間の任期を設けて会長となり、2015 年 8 月の総会で任期終了となるため、役員選出選挙の推薦者名簿には加えず、理事会から外れることが提案されました。さらに、会長の業務を示され、次期会長の元で、運営に対応することが依頼されました。

11. 会則変更に関する検討

前回の理事会からの継続審議事項であった会則変更について審議され、専門部会と支部会に関する第 35 条を改正し、それに関する細則についても、原案から一部文言を修正して制定することとなりました。

【報告事項】

1. 支部大会開催報告

第 4 回中国・四国支部会支部大会と第 7 回九州・沖縄支部会支部大会について報告されました。

2. 会計処理の変更(立替金の清算)

会長から、2015 年度から立替金などの支出が、25 日締めめの翌月 25 日払いとなることが報告されました。交通費を負担する場合や支部大会等の支払については、早めに計画を立てて、支払い手続きを行う必要が生じるため、これについて協力を依頼されました。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限りません(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢